



まだ5月だというのに気温の高い日があります。全国的に真夏日となるところもあるようです。急に気温が高くなると体がついていかなくて、熱中症が心配されます。幼稚園でも、こまめに水分補給をしたり、戸外で長時間遊ばないようにしたり、気温によってはクーラーや扇風機を使ったりして、健康管理をしています。子どもたちは存分に遊んで降園しますので、帰宅後は休息をとったり、栄養や睡眠をしっかりとったりして、次の日にまた元気で登園できるようにしましょう。

楽しい遊びが続くようになってきています

新しいクラスでの生活に慣れてきて、どのクラスでも登園したら「今日もあの遊びしたいな」「昨日の続きをしよう」などという声が聞かれます。9:15くらいから始まる『ぐんぐんタイム』の前に園庭に出て、好きな場所で遊び、ぐんぐんタイムで体操やリズム遊びで体を目覚めさせ、その後各クラスでの楽しい遊びが始まります。

年少児は今の時期はなんといっても砂・水の遊び。砂場道具やテラスに丸テーブルなどが準備されていて、子ども達の遊びたい気持ちが高まります。たくさん水を流して砂場で川を作ったり、テラスでは砂と水を混ぜたり、枯れてきたピオラなどの草花を使ってジュース作りをしたりしています。ジュース作りではたくさんのカップやペットボトル、すり鉢とすりこぎが準備されていて、年少のこの時期の「友達と同じようにしてみたい」「あれも使ってみたい、これも・・・」という気持ちを満足させる環境が整えられています。「いらっしやいませー」という声に誘われて行ってみると「どうぞ」と、コーヒー色やサイダー色のジュースをごちそうしてもらいました。繰り返し、心行くまで好きな遊びを楽しむ年少児です。



「ジュースができたよ、どうぞ」

年中児は、園庭南側の砂場周辺がお気に入り。砂場に水をためようと水を運んで川を作ったり、準備された丸テーブルで色水やごちそうを作ったり、砂場で遊んでは近くにある遊具で体を動かしたりまた砂遊びをしたり、砂場周辺の草むらでカエルを見つけたり……。砂場だけでなく、その周りも楽しいき組の遊び場所として、互いの遊び場を行き来したり、友達の様子も見ながら自分のやりたいことを楽しんだりしています。ここでも、「遊んでみたくなるように」「昨日の続きができるように」丸テーブルが置いてあり、自分達で運べるようにテラスに砂場道具が準備してあります。年少組の時には遊びが楽しくなるように教師の援助がかなりウエートを占めていましたが、年中組では1年の経験をもとに、自分達でどこが楽しい遊び場になるのか、どんなものがあると楽しくなるのか、今、遊びながら模索中です。遊びたい気持ちは十分にあるのに、思った様な形にならない。友達との関わりが多くなってきた分、様々な葛藤も抱えてきている。そんな姿も見られます。一人一人の気持ちを受け止め、寄り添いながらも、担任と共に楽しい遊びになるように考えたり、葛藤している気持ちを言葉で表したり、少しずつ自分で気持ちを切り替えたりしながら、『き組さんの楽しい生活や遊び』が創られていくのが楽しみです。



「スコップ、重いけどみんなで運ぶと大丈夫」

年長児は、紙飛行機やビニール袋で風と関わる遊びをしていました。一人の子が紙を切って飛ばしたことがきっかけで、フリスビーの遊びが始まりました。最初は好きな紙を切って飛ばしていましたが、担任がいろいろな硬さの紙をさりげなく準備しておくことで、自分で紙を選んで切って飛ばして遊ぶようになりました。丸い形、大きい丸の形、丸のふちに切り込みが入っているもの、紙皿……。自分なりのフリスビーを作っては園庭で飛ばすことを楽しんでいました。硬い紙はなかなか切りにくいようですが、めあてのために頑張って取り組んでいました。飛ばしてみても「もっと大きいのにしてみよう」「こんな形はどうか」と自分なりに工夫したり、飛ばし方や飛ばす場所

(築山の上など)を考える姿も見られます。「せーの」で友達と一緒に飛ばすことも楽しいようです。年長児のこの時期、自分のやりたいことを十分に楽しみながら、学級での共通体験から同じようなイメージやめあての中で遊べるような環境や材料の準備を担任はして、自分なりの工夫や試行錯誤、少し頑張ったらできる体験、ができるようにしています。この先、どんな面白さを感じ、どのように遊びを進めていくのか楽しみに見ていきたいと思います。

このように、学年によって発達の違いがあるので、担任の遊びの準備や援助の仕方は違います。毎日、子ども達の遊びの様子や願いを受け止めながら保育をしています。



「硬い紙を切るのは難しいね」



「見てー！すっごく飛んだよ」

幼稚園のこいのぼりができました



家庭やその周りで見たり、年中・年長児は平田船川に掲げられているこいのぼり見学に行ったりしたこと、「大きなこいのぼりが作りたい」という思いをもったので、各クラス1つずつこいのぼりを作ることになりました。それぞれのカラーの布に絵の具で手形や好きな絵や模様を描きました。うろこは、自分の顔を描いて貼り、担任が口を丸くして出来上がりです。17日のぐんぐんタイムの前に、自分達で作ったこいのぼりを持って掲揚台に集まってきました。担任が紐でくくりつけ、こいのぼりが上がり始めると、自然と「やねより高いこいのぼり〜♪」と歌いだしました。一番上まであがるとみんな大喜び！この日は風が吹いていたので、3匹のこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいましたよ。

夏野菜の栽培をします

自分達で栽培活動をする中で、世話をしたり生長の様子を楽しみにしたりしながら、育てる喜びや大変さなどを感じ、収穫を喜び合う経験ができるようにしています。先日、夏野菜を育てようということになり、年中・年長組は自分達で育てたい野菜を決めて、近くの種苗店へ買いに行きました。年少組は年長組に買ってもらうようお願いをしたようです。カボチャ、トウモロコシ、オクラ、トマトなどの苗を、プランターや遊戯室前の畑に植えていました。年長児はよくわかるように看板も作っていました。毎朝、水やりをしてお世話をしています。「おおきくな〜れ」と優しく声をかけている姿も見られます。自分達の食べている野菜は、スーパーに売られているだけではなく、手間暇をかけて大切に育てて初めて食べられる、ということを感じてほしいと思います。ちなみに、年少児は、一人一鉢でミニトマトの苗を植えていました。「何を植えたの？」と聞くと、「あのねー、大きくなったらタマゴができるんだよ」「たのしみ！」という答え。??担任曰く、「まだ栽培が初めてでミニトマトと言ってもイメージができないので、どんな食べ物ができるかお楽しみにしてお世話をします」とのこと。本気でタマゴができると思っている年少児です。

年長児の何気ないひとこと

今年度の年長児は8人です。以前の便りにも書きましたが、幼稚園のリーダーとしてどんな係が必要かみんなで話し合っ、毎日、ぐんぐんタイムの司会や掃除、日直などの係活動を交代で行っています。特に日直の仕事はたくさんあって、給食前の机拭き・持ち帰る手紙を職員室へ取りに来る・ウサギの飼育を2人でしています。午後に集中することが多いので結構大変です。ある日、ウサギの飼育のためにマスクを取りに来た日直の子が、「あー、仕事がいっぱいあって大変で、嫌だね」とつぶやきました。しかしその子の顔を見ると、にこにこ笑顔です。きっと本心から嫌なのではなく、「こんなに大変だけど、頑張っている私たち、すごいでしょ」という思いが伝わってきました。だから、「そうだね、大変だけど年長さんのおかげで幼稚園のみんなや先生たち、助かっているし、嬉しいよ」というと、満足そうに「じゃあ、うさぎ当番に行ってくるから！」と、ウサギの飼育に走っていきました。年長さん、頑張っているなあ・・・と思ったひと時でした。